

地域のかお シリーズ119

コロナ禍から6年！！

宮崎市旭町児童館

館長 河野一朗

今さら「コロナ」という言葉を文章に書いてよいものかと迷いながらも文章を書き進めたいと思います。

平成31年広瀬小学校勤務4年目、6年生の担任をすることになりました。

年度途中から元号が改まることから、当時の学級通信には、「平成最後の6年生！ **令和最初の6年生！！**」という言葉の数回書いた記憶があります。最高学年を鼓舞するものだったと思います。

これまでの6年生と変わらず、修学旅行、水泳学習、お弁当ありの運動会など、普通に6年生としての学校生活が続きました。年が明け、1月・2月の卒業式練習も普通に行っていました。しかし、2月末に、久峰公園への「お別れ遠足」を最後に突然、コロナによる休校になってしまいました。

卒業式練習もなくなり、卒業式当日は教室にも入らず体育館集合。卒業式の歌を歌うこともなく、式終了。退場後は体育館の外で、「別れの挨拶」というあっさりとした卒業式だったことを思い出します。

この6年間の中で数名の教え子たちと再会し、近況を話すことができました。また、その学年の生徒たちがスポーツや学術面で素晴らしい成果を出し最近の新聞・ニュースで取り上げられているのを見て、誇らしい気持ちになりました。

彼らはきっと、中学・高校の友達、先生、保護者などの支援のもとに自分の目標や夢の達成に向けて力いっぱい生きているのだらうと思います。コロナにより失われたものも多いことでしょう。しかし、めまぐるしいIT化等が進む中でも、彼らなりに適応しながら新しい時代を生きている若い力に感心させられるばかりです。

広瀬小学校6年生のみなさん。少し早いですが「卒業おめでとうございます。」

小学校では、あまり関わることはありませんでしたので、児童館を利用している数名しか分からないのですが、体の小さかった1年生から6年間の中で、社会生活も徐々に日常に戻り、心も体も大きく成長したことでしょう。児童館でも、5年生の時よりも最上級生の自覚が出て、下の学年にやさしく接する姿も見られました。4月からは、中学校で先輩方から多くのことを吸収して自分の目標を立ててください。

さて、広瀬中学校3年生諸君。「卒業おめでとう！」

君たちとは、私が広瀬小最後の年に4年生を担当しました。一番やさしく指導した男子が昨年、友達と一緒に児童館にあいさつに来てくれました。当時の相棒も他校でラグビーを頑張っていると聞きました。先日保護者とあいさつに来てくれました。二人とも、好青年になっていることにびっくりしました。フェスタのボランティア、クリスマス会の吹奏楽部の演奏でも中学生の頼もしい姿がみられました。

高校3年生、中学3年生、小学6年生、どの学年もそれぞれの活躍を期待しています。**「夢にときめけ！明日にかがやけ！！」**

最後になりましたが、児童館活動支援者の皆様、保護者の皆様、この一年間のご支援ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度も児童館活動を計画していきますが、ご意見等もお聞かせて頂いて、さらに充実した旭町児童館にして参りたいと思います。